

皆様おはようございます。新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は数年来の感染症が収束することなく続き、武力侵攻があり、物価高があり…、悩み多い年でした。今年こそは平和と慰めに満ちた年でありますようにと強く願います。

今日は信仰深いシメオンとアンナのストーリーから主の御教えと力付けを賜りたいと願います。

まず、今日の個所に多く見られますのが、「律法」に書いてある通り、それに従って進んだヨセフとマリアの姿です。

御言葉に従って生きる。これが私たちの幸いなる生活の土台であることを教えられます。

2:25 その時、エルサレムにシメオンという名の人があった。この人は正しい信仰深い人で、イスラエルの慰められるのを待ち望んでいた。また聖霊が彼に宿っていた。

2:26 そして主のつかわす救主に会うまでは死ぬことはない、聖霊の示しを受けていた。

2:27 この人が御霊に感じて宮にはいった。すると律法に定めてあることを行うため、両親もその子イエスを連れてはいつてきたので、

2:28 シメオンは幼な子を腕に抱き、神をほめたたえて言った、

シメオンは正しい信仰深い人でした。正しいとは、神様との正しい関係の中に生きているということで、神様の標準、意思、ご性質に従うということの意味します。そのシメオンが願っていたことは、わが国イスラエルの慰めでした。慰めと助け、安心と平安、そして救いと解放。聖霊が彼に宿り、彼は聖霊の示しを受け、彼は御霊に感じて宮に入りました。彼の生活は神中心でした。神様は義なる人(神様との正しい関係の中に生きている、神様の標準、意思、ご性質に従う人)と共におられました。

彼は主のつかわす救主に会うまでは死ぬことはない、聖霊の示しを受けていました。

直訳すれば、「死を見ない 彼が救い主、主を見るまでは」となります。

救いを受けるまでは死なないということは、主イエス様の贖いの死と復活による救いを受ければもはや死ぬことがなくなるわけですから、結局いつまでも、永遠に死ななかったということになります。主を待ち望む人は、決して失望させられることはありません。

1ペテロ 2:6 聖書にこう書いてある、／「見よ、わたしはシオンに、／選ばれた尊い石、隅のかしら石を置く。それにより頼む者は、／決して、失望に終ることがない」。

イザヤ 28:16 それゆえ、主なる神はこう言われる、「見よ、わたしはシオンに／一つの石をすえて基とした。これは試みを経た石、堅くすえた尊い隅の石である。『信ずる者はあわてることはない』」。

神様を信じる人は、そしてその御心を求めて生きる人は、失望をも死をも体験することはありません。そして日々の御霊による導きがあります。

2:27 この人が御霊に感じて宮にはいった。すると律法に定めてあることを行うため、両親もその子イエスを連れてはいつてきたので、

2:28 シメオンは幼な子を腕に抱き、神をほめたたえて言った、

彼はその両腕に、確かに神様の救いを抱いたのです。救い主、神の一人子イエス・キリストを確かにその腕に抱いたのです。御霊は彼に救い主キリストを指し示しました。彼は大祭司や律法学者たちが何度もイエス様の言葉や業を見たも信じる事が出来なかったにもかかわらず、シメオンは、御霊の感じて宮に入り、まだ言葉をひとことも発することのできない赤子のイエス様に神のメシア救い主であるということを知り、神様をほめたたえたのです。神様に生き、み旨を求め、聖霊により生きる人のすごさ、素晴らしさがここに 있습니다。

2:29 「主よ、今こそ、あなたはみ言葉のとおり／この僕を安らかに去らせてくださいます、

「あなたはみ言葉のとおり…」

神様の御言葉に生涯をかけて、頼って進んできた人は、まさに失望させられることがあります。御言葉にすがって生きた人の人生は充実して、確かな守りの中にあり、約束が果たされ、空しく終わることはありません。そこには感謝と平安があり、安らかな休息があります。

2:30 わたしの目が今あなたの救を見たのですから。

わたしの目があなたの救いを見た。

神様と共にある私たちの目も、神様の救いを見ます。神様の御言葉による約束は、空しく終わることがありません。私たちの信仰は目に見える裏付けがないものかもしれませんが、時が来れば確かに目に見える形でさえ救いを見ることになるのです。

2:31 この救はあなたが万民のまえにお備えになったもので、

2:32 異邦人を照す啓示の光、み民イスラエルの栄光であります」。

神の民にも、異邦人にも、万民の前に神様はこの救いをお備えになられました。

異邦人には啓示の光、御民イスラエルには神の栄光を現してくださいました。それがこの救い主御子の誕生です。

2:33 父と母とは幼な子についてこのように語られたことを、不思議に思った。

2:34 するとシメオンは彼らを祝し、そして母マリヤに言った、「ごらんください、この幼な子は、イスラエルの多くの人を倒れさせたり立ちあがらせたりするために、また反対を受けるしるしとして、定められています。——

2:35 そして、あなた自身もつるぎで胸を刺し貫かれるでしょう。——それは多くの人の心にある思いが、現れるようになるためです」。

ここに少し不吉で不気味な預言があります。

この幼な子は、イスラエルの多くの人を倒れさせたり立ちあがらせたりするために、また反対を受けるしるしとして、定められています。

イスラエルの多くの方は倒れさせなければなりません。彼らは傲慢のゆえに預言者の声を退け、神の声を退けていたからです。そして倒れ、苦しみ、悔い改め、立ち上がらされるのです。

ヤコブ 1:9 低い身分の兄弟は、自分が高くされたことを喜びなさい。

1:10 また、富んでいる者は、自分が低くされたことを喜ぶがよい。富んでいる者は、草花のように過ぎ去るからである。

ルカ 14:11 おおよそ、自分を高くする者は低くされ、自分を低くする者は高くされるであろう」。

1 ペテロ 5:5 同じように、若い人たちよ。長老たちに従いなさい。また、みな互に謙遜を身につけなさい。神は高ぶる者をしりぞけ、へりくだる者に恵みを賜うからである。

5:6 だから、あなたがたは、神の力強い御手の下に、自らを低くしなさい。時が来れば神はあなたがたを高くして下さるのであろう。

5:7 神はあなたがたをかえりみていて下さるのであるから、自分の思いわずらいを、いっさい神にゆだねるがよい。

イエス様は、神の御子でありながら自らへりくだられ、実に十字架に死にまで従われました。

ピリピ 2:6 キリストは、神のかたちであられたが、神と等しくあることを固守すべき事とは思わず、

2:7 かえって、おのれをむなしうして僕のかたちをとり、人間の姿になられた。その有様は人と異ならず、

2:8 おのれを低くして、死に至るまで、しかも十字架の死に至るまで従順であられた。

2:9 それゆえに、神は彼を高く引き上げ、すべての名にまさる名を彼に賜わった。

2:10 それは、イエスの御名によって、天上のもの、地上のもの、地下のものなど、あらゆる

るものがひざをかがめ、

2:11 また、あらゆる舌が、「イエス・キリストは主である」と告白して、栄光を父なる神に帰するためである。

イエス様は倒れ、そして復活して高く上げられました。イエス様は多くの人から妬まれ、憎まれ、反対され、矢面に立ち、苦しみと悲しみにそのお心は貫かれました。マリアにとってもそうであったでしょう。——それは多くの人々の心にある思いが、現れるようになるためです。心の思いが悪であることを悟らせるために、イエス様はその孤独と悲しみの道を進まれました。

イザヤ 53:1 だれがわれわれの聞いたことを／信じ得たか。主の腕は、だれにあらわれたか。

53:2 彼は主の前に若木のように、かわいた土から出る根のように育った。彼にはわれわれの見るべき姿がなく、威厳もなく、われわれの慕うべき美しさもない。

53:3 彼は侮られて人に捨てられ、悲しみの人で、病を知っていた。また顔をおおって忌みきらわれる者のように、彼は侮られた。われわれも彼を尊ばなかった。

53:4 まことに彼はわれわれの病を負い、われわれの悲しみをになった。しかるに、われわれは思った、彼は打たれ、神にたたかれ、苦しめられたのだと。

53:5 しかし彼はわれわれのとがのために傷つけられ、われわれの不義のために砕かれたのだ。彼はみずから懲らしめをうけて、われわれに平安を与え、その打たれた傷によって、われわれはいやされたのだ。

53:6 われわれはみな羊のように迷って、おのおの自分の道に向かって行った。主はわれわれすべての者の不義を、彼の上におかれた。

53:7 彼はしえたげられ、苦しめられたけれども、口を開かなかった。ほふり場にひかれて行く小羊のように、また毛を切る者の前に黙っている羊のように、口を開かなかった。

53:8 彼は暴虐なさばきによって取り去られた。その代の人のうち、だれが思ったであろうか、彼はわが民のとがのために打たれて、生けるものの地から断たれたのだと。

53:9 彼は暴虐を行わず、その口には偽りがなかったけれども、その墓は悪しき者と共に設けられ、その塚は悪をなす者と共にあった。

53:10 しかも彼を砕くことは主のみ旨であり、主は彼を悩まされた。彼が自分を、とがの供え物となすとき、その子孫を見ることができ、その命をながくすることができる。かつ主のみ旨が彼の手によって栄える。

53:11 彼は自分の魂の苦しみにより光を見て満足する。義なるわがしもべはその知識によって、多くの人を義とし、また彼らの不義を負う。

53:12 それゆえ、わたしは彼に大いなる者と共に／物を分かち取らせる。彼は強い者と共に獲物を分かち取る。これは彼が死にいたるまで、自分の魂をそそぎだし、とがある者と共に数えられたからである。しかも彼は多くの人々の罪を負い、とがある者のためにとりなしを

した。

2:36 また、アセル族のパヌエルの娘で、アンナという女預言者がいた。彼女は非常に年をとっていた。むすめ時代にとついで、七年間だけ夫と共に住み、

2:37 その後やもめぐらしをし、八十四歳になっていた。そして宮を離れずに夜も昼も断食と祈とをもって神に仕えていた。

仮に15歳で結婚して7年で死別、夫は20代後半で早亡くなるとはと、余りにも薄幸というべきかもしれませんが、これは2000年前の話です。20代、30代で亡くなるということも珍しくはなかったと思います。

アンナという人こそが、この時代にして84まで生きるということが、シメオンにしてもそうでしたが、驚くべき神様の祝福であったのだと思います。彼らは死なないのではないかと、この驚きがあったのではないのでしょうか。その齢でかくしゃくと、宮で祈る彼らの姿は、多くの人たちの目に留まっていたに違いありません。

「宮を離れずに夜も昼も断食と祈とをもって神に仕えていた」のです。食べることをよそにして、アンナの関心事は祈ること、そうして礼拝し、神に仕え続けることでした。その生涯の中に、神様は長寿と健康の恵みを与えて下さいました。使命を与えて下さいました。

2:38 この老女も、ちょうどそのとき近寄ってきて、神に感謝をささげ、そしてこの幼な子のことを、エルサレムの救を待ち望んでいるすべての人々に語りきかせた。

このアンナにも、この出来事が何であるかを悟っていました。そしてこの幼子イエス様にある神様のご計画がどれだけ素晴らしいものであるかをエルサレムの救いを待ち望んでいるすべての人々に語りきかせました。

教会の今年の聖句を、黙示録12章11節から、「兄弟たちは、小羊の血と彼らのあかしの言葉とによって、彼にうち勝ち、死に至るまでもそのいのちを惜しまなかった。」とさせていただきました。

小羊の血によって贖われ、その神様の圧倒的な赦しの愛の中にあって、私たちはその出来事を証ししていきます。死に至るまで、生涯を通してその道に突き進みます。命を惜しまず、時を惜しまず、持ち物を、情熱を惜しまずにそこに注力します。その行先にある者は、神様の力強いお守りと祝福です。

2:39 両親は主の律法どおりすべての事をすませたので、ガリラヤへむかい、自分の町ナザレに帰った。

主の律法通り、聖書の御言葉通り、主の御心を追い求めて生きる生涯が今日記されてありました。

2:40 幼な子は、ますます成長して強くなり、知恵に満ち、そして神の恵みがある上にあつた。

幼子イエス様は、ますます成長して強くなり、知恵に満ち、そして神の恵みがある上にありました。そして神様を信じる私たちにも成長があります。強さがあります。聖霊による知恵と洞察力があります。神の恵みにより頼み、今年も進みましょう。

2 コリント 4:15 すべてのことは、あなたがたの益であつて、恵みがますます多くの人に増し加わるにつれ、感謝が満ちあふれて、神の栄光となるのである。

4:16 だから、わたしたちは落胆しない。たとえわたしたちの外なる人は滅びても、内なる人は日ごとに新しくされていく。

4:17 なぜなら、このしばらくの軽い患難は働いて、永遠の重い栄光を、あふれるばかりにわたしたちに得させるからである。

4:18 わたしたちは、見えるものではなく、見えないものに目を注ぐ。見えるものは一時的であり、見えないものは永遠につづくのである。

2 コリント 6:2 神はこう言われる、／「わたしは、恵みの時にあなたの願いを聞き入れ、／救の日にあなたを助けた」。見よ、今は恵みの時、見よ、今は救の日である。

6:3 この務がそしりを招かないために、わたしたちはどんな事にも、人につまずきを与えないようにし、

6:4 かえって、あらゆる場合に、神の僕として、自分を人々にあらわしている。すなわち、極度の忍苦にも、患難にも、危機にも、行き詰まりにも、

6:5 むち打たれることにも、入獄にも、騒乱にも、労苦にも、徹夜にも、飢餓にも、

6:6 真実と知識と寛容と、慈愛と聖霊と偽りのない愛と、

6:7 真理の言葉と神の力とにより、左右に持っている義の武器により、

6:8 ほめられても、そしられても、悪評を受けても、好評を博しても、神の僕として自分をあらわしている。わたしたちは、人を惑わしているようであるが、しかも真実であり、

6:9 人に知られていないようであるが、認められ、死にかかっているようであるが、見よ、生きており、懲らしめられているようであるが、殺されず、

6:10 悲しんでいるようであるが、常に喜んでおり、貧しいようであるが、多くの人を富ませ、何も持たないようであるが、すべての物を持っている。

◇祈禱；天の父なる神様、今日の礼拝を感謝します。困難の時、居場所

を失った時、途方に暮れる時、欠乏の時、それでも私たちには逃れの地が、居場所があり、定められた慰めの時、喜びの時があり、神様の養いが常にありますから、本当にありがとうございます。世の中にはすべて混乱があり、混迷の度を増していますが、悪魔の攻撃にめげずにイエス様の贖いの信仰によって勇気を頂いて神の御言葉の定める道を進み、イエス様の証しを続けることが出来るように今週も私たちをお守りください。子供からお年寄りまで、あらゆる年齢の方々が、この時こそ教会にて、イエス・キリストに出会うことができますようお願いいたします。私たちの家族と、地域の方々を祝福して下さい。主イエス様の御名によって祈ります。アーメン